



## ふるさと探訪！歩け歩け！

2月26日、地域を知り、住民の世代間交流を深めることを目的に、明治コミュニティの恒例行事であるウォーキングが行われました。小学生から高齢者までが参加し、浅間神社や上神主茂原官衙遺跡などを訪ねました。汗をかいた後にはいちごや豚汁が振る舞われ、参加者は「疲れたけれども楽しかった」と豚汁をおいしそうに食べながら語ってくれました。



浅間神社にお参りました

## 通学児童を守ろう！

3月1日に、町庁舎において、下野地区交通安全協会から新入生用のランドセルカバーが寄贈されました。

ランドセルカバーは、下野地区交通安全協会 副会長 高山 正さん(同会上三川支部長)から本町教育長へ手渡され、その後、交通安全に関する意見交換では、「特に下校時は、児童が少人数で歩く場面が多くみられるため、ランドセルカバーを活用してドライバーや地域住民に見守られる形で下校してほしい。また、交通事故だけでなく、犯罪からも身を守ることができるよう防犯効果も期待したい。」との話がありました。

ランドセルカバーは上三川町交通安全母の会を通し、こども交通安全カード、横断旗、啓発冊子とともに、各小中学校へ配布されました。



ランドセルカバー贈呈



ランドセルカバー配布



皆さんの活躍を期待します

## 自衛隊入隊者激励会

3月9日、上三川町自衛隊父兄会により、平成29年に自衛隊に入隊される町民の方の激励会が開催されました。今回参加した4名の入隊予定者の皆さんは、町長や自衛隊栃木地方協力本部長から激励の言葉を受け、自衛官となる決意を新たにされていました。

## 「交通安全バッジ」が小学校に配布

昨年に続き、2月27日(月)に下野警察署から、児童の交通安全事故ゼロを目指し、栃木県安全運転管理者協議会下野地区協議会の協力を得て作製された新入学児童用「交通安全バッジ」が町に贈呈されました。バッジは管内小学校に配布され、新入学児童に渡ります。本年度からは、バッジのサイズが大きくなるとともに、「団体総合生活補償保険」が付帯されました。

平成29年4月1日から1年間、交通事故で死亡されたときには20万円、後遺障害が残ったときには最高20万円(後遺障害の程度に応じて4%~100%)が支給されます。



小学生の安全のために



スイートピーのハウスにて

## 第16回 消費者と生産者の交流会

3月4日(土)、上三川町認定農業者協議会主催の消費者と生産者の交流会が開催されました。親子23名が参加、トマトや花生農家の見学をしました。

見学後は、郷土食を考える集い実行委員会の協力のもと、地元の食材をふんだんに使用した昼食会が行われ、カレーライスをいただきました。

## 干瓢づくりの伝統を守る

### 海老原悟さんが地域特産物マイスターの認定

2月27日(月)、公益財団法人日本特産農産物協会より海老原悟さん(坂上本田)が「地域特産物マイスター」の認定を受けました。

これは、地域特産物の生産や加工などで、卓越した技術の伝承と開発に意欲的である人などを認定登録する制度です。海老原さんは、干瓢の生産者として質の良い干瓢をめざして土作りからこだわった伝統的な栽培方法を守り、生産者への指導や干瓢剥き体験・TV出演といった消費者へのPRなど積極的な活動を行い「地域特産物マイスター」に認定されました。海老原さんの今後の活躍が期待されます。



認定おめでとうございます



福美ちゃん

上三川町社会福祉協議会

皆さんの温かい応援、  
ありがとうございます。

- 匿名 100,000円(第1回)
- 生きがいサロンふくへの会 5,000円(第51回)
- 平成28年度本郷中学校卒業生一同 4,000円(第1回)
- しづき歌謡協会 会長 小口忠 30,000円(第6回)
- 吉澤啓子 3,012円(第65回)
- 歌声の会上三川 5,357円(第7回)
- 藤倉和子 3,000円(第1回)

まじゅう  
善意銀行(敬称略)